

第1学年 道徳（人権）学習指導案

1 主 題 　　みんなちがって　みんないいね

2 主題設定の理由（一部省略）

よりよい仲間づくりをめざして、1学期から、帰りの会では、「優しかった人、がんばっていた人」を発表し合ってきたことで、自分も友達もかけがえのない存在であることに気が付き始めている。「あつめよう！ふわふわことば」では、とげとげ言葉をふわふわ言葉にかえていくことを意識することで、友達を思いやる気持ちを言葉で表現できるようになってきつつある。体育の時間などの体ほぐしの運動では、自分の体験から、「こうすれば気持ちがいい、痛い。」などの、相手のことを考えた力加減で友達とかかわることにより、体のコミュニケーションを育てている。道徳「ちょうのともだち」の学習では、自分だけが楽しければいいのではなく、みんなが楽しむことができ初めて本当の楽しい学級になることを考えてきた。2年生といっしょの学校探検、異学年班での「ふれあいタイム」などの交流では、人とつながる活動を大切にしている。

2学期に入り、「ほめほめぶくろ」では、「優しかった人、がんばっていた人」を「きりりさん」と称してカードに書き、自分のよさや友達のよさを形に残すようにした。道徳「えらいえらい」では、身の回りのもの、動物などのよさを考えていくうちに人のよさって何だろうと考えた。「きりりさん」があちこちで見られ、「きりりさん」に気付くことも増えている。

本資料「おおきいトンとちいさいポン」は、大きいことや小さいことのよさや不便さを考えていくうちに、違いを認め合い共に支え合うことの大切さに気付くことができる話である。すべてのものにそれぞれの役割やよさがある。自分や周りの人のよさを考えることで、かけがえのない存在である一人一人を大切にし、つながり、互いに認め合える仲間づくりをしていこうとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

3 ねらい

自分や友達のよさに気付き、互いに認め合って、一人一人を大切にしようとする態度を育てる。

4 学習計画

(1) これまでの学習

道 徳	「てのひらをたいように」(県資料)	・・・・・・・・・・	1時間
学級活動	「ほめほめぶくろ」	・・・・・・・・・・	1時間
道 徳	「えらいえらい」(そうえん社)	・・・・・・・・・・	1時間
生活科	「あきのおもちやをつくろう」	・・・・・・・・・・	6時間

(2) 現在の学習

道 徳	「おおきいトンとちいさいポン」(偕成社)	・・・・・・・・・・	1時間 (本時)
-----	----------------------	------------	----------

(3) これからの学習

生活科	「ようこそ わくわくランドへ」	・・・・・・・・・・	3時間
-----	-----------------	------------	-----

5 本時の学習

(1) 目 標

身の回りに存在するものや人のよさに気付くとともに、一人一人を大切にしていこうとする態度を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 「個性の尊重」

(3) 展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 本時の課題をつかむ。	○ 本時の学習の方向付けをする。
2 「大きいトンと小さいポン」のよさを見つける。	○ 大きくても小さくてもそれぞれに役割やよさがあり、どれも大切な存在であることに気付かせる。
3 自分の周りの人のよさを見つける。	○ 自分の周りの人のよさの理由を考えながら、一人一人をしっかりと見つめ、より大切にしていこうとする意識をもたせる。
4 本時のまとめをする。	○ それぞれのよさを認め合い、友達と仲よくしていこうとする態度を育てる。

(4) 評 価

- それぞれによさがあることを理解することができたか。 (知識的側面)
- 自分や友達のをさを認め、仲よく生活しようとしているか。 (価値的・態度的側面)
- それぞれのよさに目を向け、自分の思いを発表することができたか。 (技能的側面)